

Electronic Library Information System ELISE 4

図書館総合情報システム [エリーゼ4]



©Hideaki Hamada

目指したのは、「わかりやすさ」と「使いやすさ」。

エリーゼが目指したのは、誰にでもわかりやすく、使いやすい図書館総合情報システムです。図書館利用の形態が多様化し、地域コミュニティの連携、活性化など新しい役割を期待される現代の図書館において、発達したICT技術を駆使し、より効率的な運営の実現をトータルにサポートします。

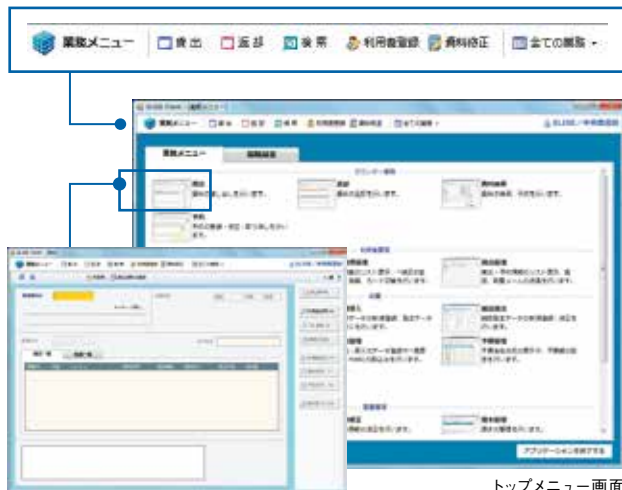
事務機能の特徴

ICT技術と調和した多彩な機能で、業務の時間を短縮させ、毎日の図書館業務が効率化します。

わかりやすい画面レイアウトと使いやすいアイコンメニュー表示。

業務用ソフトウェアを起動すると業務メニュー画面が表示され、作業する業務ごとにアイコンがわかれているので、必要な機能を即座に選び、使用することができます。また、プログラムの切替、呼出はアイコンメニューでワンタッチ操作が可能です。各業務メニュー画面ではファンクション化され、各画面で統一した配置となっています。

使いやすいアイコンメニュー表示



貸出画面

トップメニュー画面



列選択画面



スマートリスト条件画面

柔軟な表示設定

目的に応じてリストの表示項目とその順序の変更が可能です。列名をクリックすると昇順・降順に並べ替えられ、表示の幅も調整ができます。

スマートリスト

蔵書リスト、新着リストなどよく使うリストは、スマートリストとして抽出条件を登録することで、いつでも希望のリストが表示可能。定型業務の効率化を図ることができます。